

包括的公表

2021年4月～8月に報告された医療事故のうち、再発防止策が定まった包括的公表となる事例は下記の通りです。

No	発生場所	概 略	再発防止策
1	救急外来	胸痛にて救急外来を受診、心電図・採血検査を行い検査の結果帰宅した。翌日、循環器内科受診、急性冠症候群、心不全増悪と診断され経皮的冠動脈心臓カテーテル検査を施行した。	<ul style="list-style-type: none"> 救急センターの研修医診療のバックアップ体制を整備する。 急性冠症候群等、緊急疾患の学習会を強化する。
2	病棟	大腿骨転子部骨折術後6日目に腓骨神経麻痺が発生した。術後よりリハビリテーションの介入をし、離床は進んでいたが、術後6日目に腓骨神経麻痺が発生した。要因はフットポンプによる影響、一過性の腓骨神経麻痺であったためフットポンプのサイズが適切であったか検討した。	<ul style="list-style-type: none"> 腓骨神経麻痺を起こさないよう、注意点・対策を再周知させる。
3	病棟 リハビリ室	リハビリ中に倦怠感の訴えあり急激に意識レベルが低下した。採血とCT画像検査が行われた。肺血栓塞栓症と診断、肺動脈血栓吸引術の処置が行われた。	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会とシミュレーションを実施する。 深部静脈血栓症の基礎知識理解と理学療法士、作業療法士・言語聴覚士としての評価方法の理解と実践を進める。
4	手術室	左橈骨遠位端骨折に対する内固定術のため、局所麻酔薬を使用し、腋窩神経ブロックを実施後に手術を開始した。手術中に局所麻酔中毒となり全身麻酔に変更し手術が行われた。	<ul style="list-style-type: none"> 局所麻酔中毒について勉強会を実施する。 神経ブロックと局所静脈麻酔の併用は避けるようにする。
5	検査室	検査技師が心筋梗塞を疑う心電図波形に気づかず、医師への報告が遅れ他職種が気づき対応した。	<ul style="list-style-type: none"> 検査時に症状の確認を行う。 必ず波形を確認する。 心電図波形の読影勉強会を行う。
6	病棟	気管切開部から吸引時にカテーテル挿入困難のため、RRT 要請をした。気管カニューレ内に乾いた痰の塊を確認した。	<ul style="list-style-type: none"> 院内で発生した気管カニューレの吸引に関わる事例を含めた医療安全情報を提供した。 気管切開患者の看護について勉強会を開催する。